



内藤 浩

自由民主党田原市議団



温泉の活用をどう考えているのか

関係団体と連携しながら、市民の積極的な参加を促す場づくりや支援を行っていく

温泉資源を活用した観光地域づくりについて

問 温泉の活用をどう考えているのか。

答 関係団体と連携しながら、市民の積極的な参加を促す場づくりや支援を行っていく。今年度は、具体的な温泉の活用方法を考える場として「観光まちづくり実践塾」を実施し、事業化に向けた支援も行っていく。

問 予定より少ない温泉の湧出量をどのように捉えているか。

答 市内宿泊事業者への意向調査により、市内温浴施設での利用見込量に対し余裕を持って配湯できる。また、温泉成分濃度が高く、加水して使用することもできるため、二次的な利用にも十分活用ができる湧出量と考える。

問 事業化につなげるための具体的な取り組みや、事業者の機運を高める取り組みは。

答 ビジネスプランコンテストなど、新しい温泉ビジネスを生み出す取り組みや、観光プロモーション事業、温泉ソムリエサミットを実施し機運を高めていく。

問 温泉資源を活用した観光地域づくりの体制は。

答 地域DMO(※)への展開を視野に入れながら、次年度からの法人化を目指している渥美半島観光ビューローを中心に、市内関係団体で連携強化を図り、温泉資源を活用した観光地域づくりを推進するための体制を構築していく。



※地域DMO（デスティネーション・マネージメント/マーケティング・オーガニゼーション）とは、市を一つの観光地域とし、マネージメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織



一般質問

P 6 辻 史子 女性、子ども・若者の社会的孤立防止について

P 7 内藤 浩 温泉資源を活用した観光地域づくりについて

P 8 小川 貴夫 寄附金制度・寄附金税制の充実・拡充と活用について

P 9 内藤喜久枝 自然災害からの犠牲者ゼロの取組について

P 8・9 赤尾 昌昭 聴覚障害者のコミュニケーション支援について

P 10 大竹 正章 公共施設適正化について

P 11 岡本 重明 まちづくりについて